

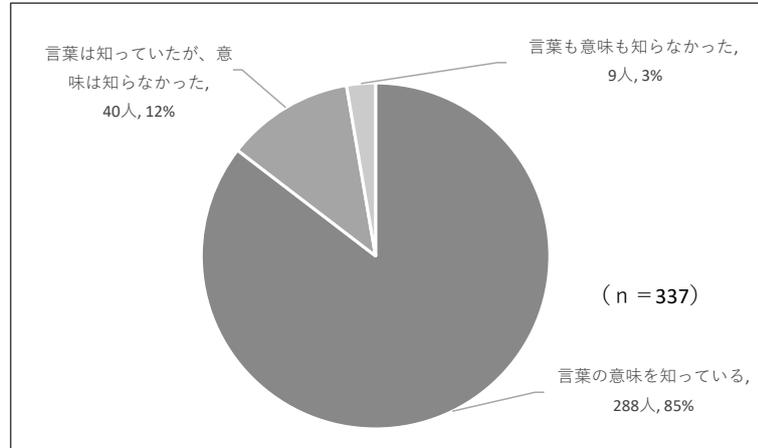
性の多様性に関する市民アンケートの結果について

人権啓発センター

- (1) 対象者 市内在住・在学・在勤の人
- (2) 実施期間 令和4年12月3日(土)～12月15日(木)
- (3) 調査方法 無記名式のWebアンケート(アンケート専用フォームへの入力による回答)
- (4) 回答者数 337人

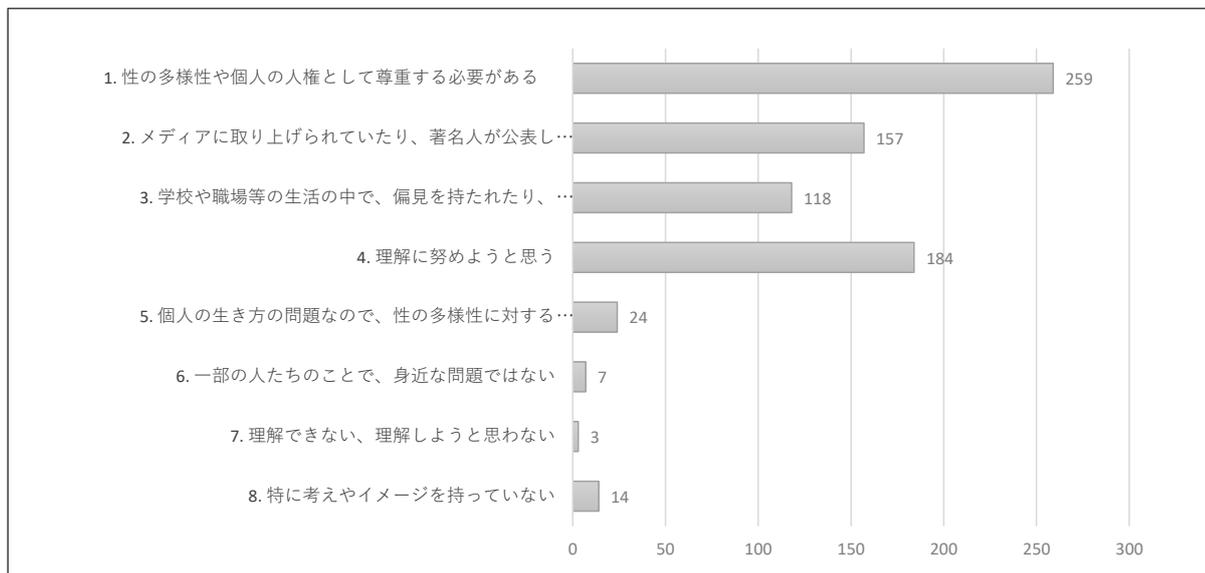
1 LGBT (性的マイノリティの総称の一つ) という言葉や言葉の意味を知っていましたか？

項目	人数
言葉の意味を知っている	288人
言葉は知っていたが、意味は知らなかった	40人
言葉も意味も知らなかった	9人
合計	337人



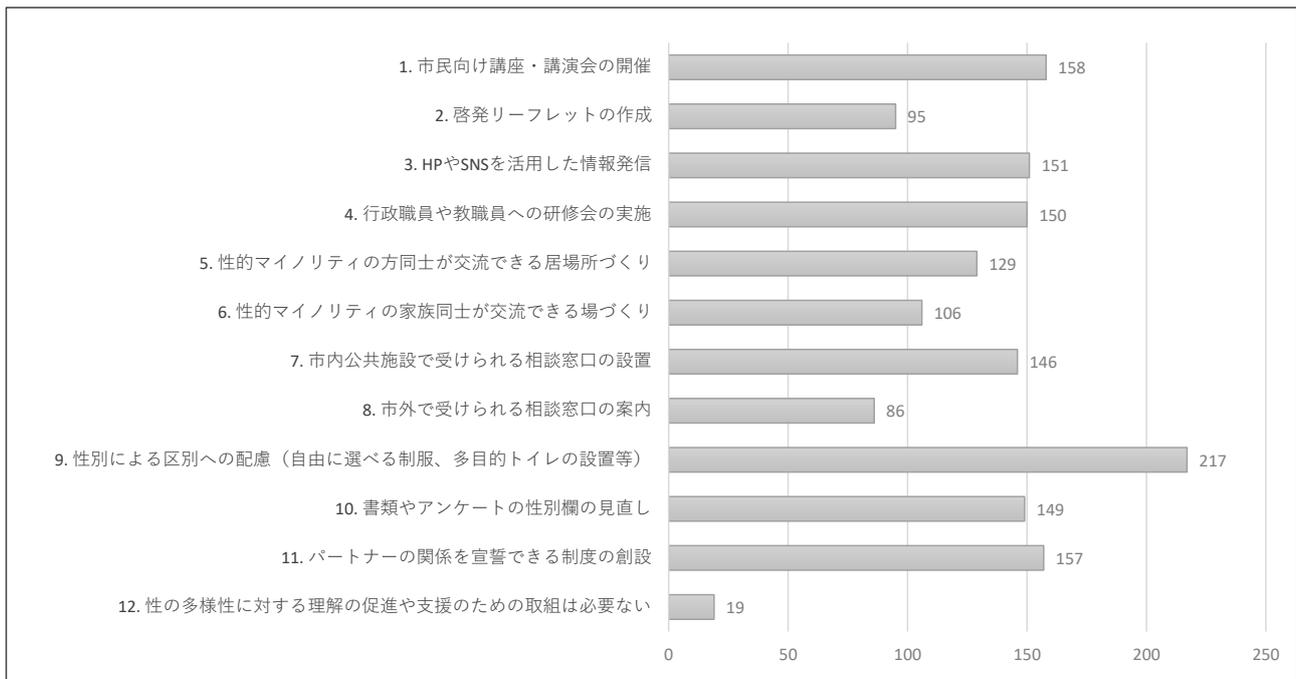
2 性的マイノリティの方について、どのような考えやイメージをお持ちですか？ (複数回答可)

項目	人数
1. 性の多様性や個人の人権として尊重する必要がある	259
2. メディアに取り上げられていたり、著名人が公表したりしているため、社会に受け入れられてきている	157
3. 学校や職場等の生活の中で、偏見を持たれたり、差別的な言動を受けたりしている	118
4. 理解に努めようと思う	184
5. 個人の生き方の問題なので、性の多様性に対する理解の促進や支援などの配慮は必要ない	24
6. 一部の人のこと、身近な問題ではない	7
7. 理解できない、理解しようと思わない	3
8. 特に考えやイメージを持っていない	14



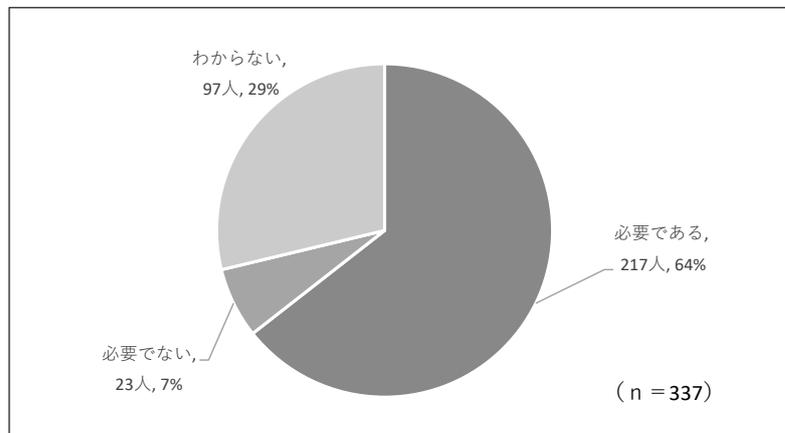
3 性の多様性に対する理解の促進や支援のためにどのような取組が必要だと思いますか？（複数回答可）

項目	人数
1. 市民向け講座・講演会の開催	158
2. 啓発リーフレットの作成	95
3. HPやSNSを活用した情報発信	151
4. 行政職員や教職員への研修会の実施	150
5. 性的マイノリティの方同士が交流できる居場所づくり	129
6. 性的マイノリティの家族同士が交流できる場づくり	106
7. 市内公共施設で受けられる相談窓口の設置	146
8. 市外で受けられる相談窓口の案内	86
9. 性別による区別への配慮（自由に選べる制服、多目的トイレの設置等）	217
10. 書類やアンケートの性別欄の見直し	149
11. パートナーの関係を宣誓できる制度の創設	157
12. 性の多様性に対する理解の促進や支援のための取組は必要ない	19



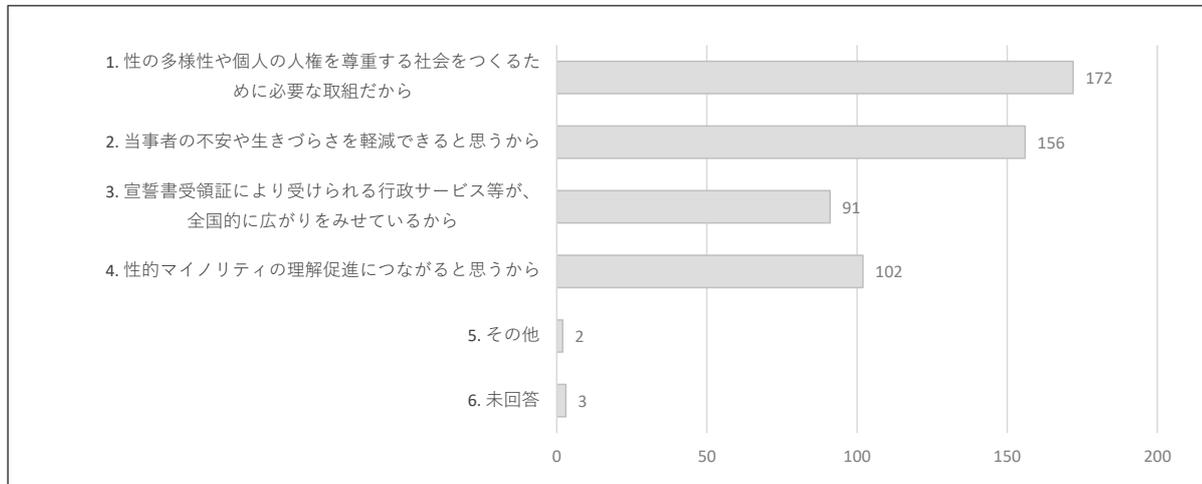
4 あなたはパートナーシップ宣誓制度が必要だと思いますか？

項目	人数
必要である	217人
必要でない	23人
わからない	97人
合計	337人



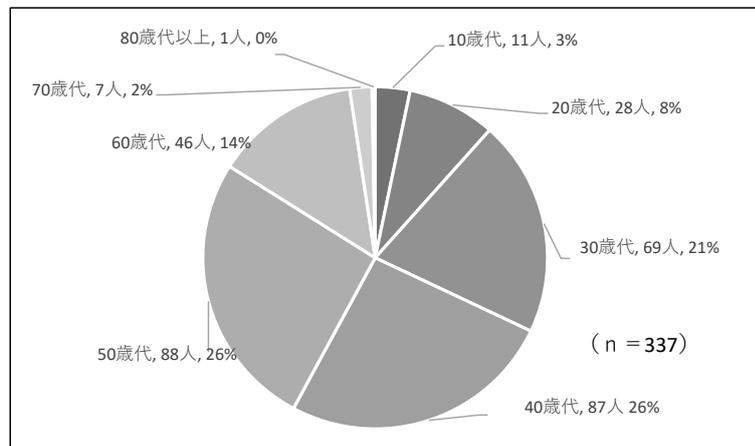
5 前問で「必要である」と回答した方は、その理由を教えてください。（複数回答可）

項目	人数
1. 性の多様性や個人の人権を尊重する社会をつくるために必要な取組だから	172
2. 当事者の不安や生きづらさを軽減できると思うから	156
3. 宣誓書受領証により受けられる行政サービス等が、全国的に広がりを見せているから	91
4. 性的マイノリティの理解促進につながると思うから	102
5. その他	2
6. 未回答	3



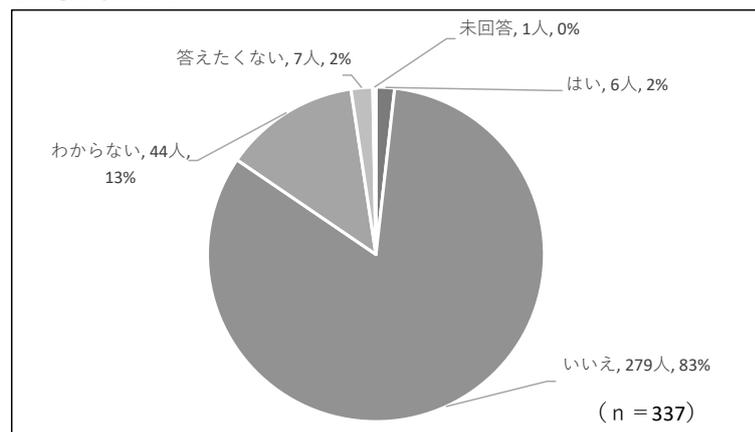
6 あなたの年代を教えてください

年代	人数
10歳代	11人
20歳代	28人
30歳代	69人
40歳代	87人
50歳代	88人
60歳代	46人
70歳代	7人
80歳代以上	1人
合計	337人



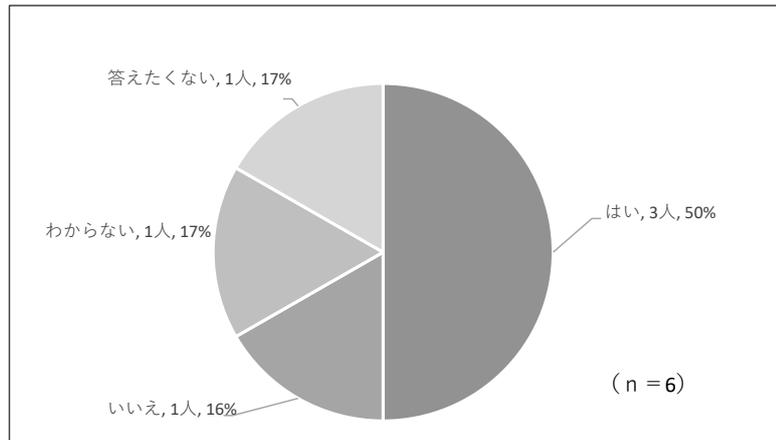
7 あなたはご自身が性的マイノリティであると思いますか？

項目	人数
はい	6人
いいえ	279人
わからない	44人
答えたくない	7人
未回答	1人
合計	337人



8 前問で「はい」と答えた方に質問します。性的マイノリティであることを理由に偏見や差別を受けたことがありますか。

項目	人数
はい	3人
いいえ	1人
わからない	1人
答えたくない	1人
合計	6人



9 あなたの周り（家族、友人、職場や学校の友人、知人など）に性的マイノリティの当事者はいますか？または、いたことがありますか。

項目	人数
はい	103人
いいえ	128人
わからない	100人
答えたくない	6人
合計	337人

